

今号のわだい

- 【1面】あれから2年。脱原発のうねり
- 【2面】3・1ピクニデー集会から
福厚労双葉分会交流会から
- 【3面】各地の冬の青年交流集会から

全厚労ニュース



全国労働組合連合会
厚生連
〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月 20日
定価 30円



「煙霧」と強い風で
気温も急激に低下する中で
請願デモ開始

被曝補償や「脱原発」など、
国の政策転換を求めて
声を上げ続けた



午後1時から始まった
日比谷野音の集会では、
会場外にもたくさんの人
たちが。9日の1万5千
人「さようなら原発集会」
よびかけ人の一人、落合

恵子さんは、「震災から
2年が経って、『まだ再



稼働反対なの」なんて言
う人々もいます。そうい
う周りの無関心層に私た
ちがどれだけ声を伝えら
れるか。原発のある社会
を子どもたちは選んでは
いない。この社会を次に
誰に手渡していくのか、
私たちに問われています。
退かない。諦めないこと
です」と訴えられました。
その後の国会請願デモ
では、様々なプラカード
や衣装、笛やドラムなど
の楽器を鳴り響かせなが
ら、霞ヶ関一帯を練り歩
いた後、国会議事堂裏で
「生活」「共産」「社民」「み
んな」の4党代表に「原
発ゼロと早期復興」を求

最後の国会前行動では、
これまでになく数々の被
災者や著名人が訪れ、ア
ピールされました。「原
発さえなければ」と書き
残して自殺した酪農家の
遺族、妻のバネッサさん
は、「私は国と東電に人
生を狂わされた。補償さ

るまで東電前で座り込
む」と涙ながらに訴え。
このことは映画「わすれ
ないふくしま」でも取り
上げられています。
「原発ゼロ」の行動は、
日本だけでなく、「脱原
発」を決めたドイツやフ
ランス、イタリア、韓国、
台湾など多くの国々で行
なわれ、「福島を忘れない
繰り返し」のストーリー
ガンも広がっています。

気温がぐんぐん上がる
日比谷野音で、
参加者の眼差しも真剣に



子ども連れのママも多く参加し、
「子ども達の未来を守れ」と訴え

震災2年

故郷返せ！ 原発ゼロ・脱原発の政策に転換させよう 子ども・未来を守れ！

東日本大震災と福島原発事故から2年を迎えようとする3月10日。東京では日比谷公園や霞ヶ関一帯、国会を取り囲む「原発ゼロ」を求める人々が集まりました。午前中に始まった全労連等の「原発をなくす全国連絡会」の集会には5千人以上の人が、「反原発」主催の野音集会やデモ、官邸前・国会前行動などには、のべ4万人以上が集まり、「再稼働反対」「原発いらぬ」「ふるさと返せ」「子どもを守れ」などのコールが響き渡りました。またこの日を中心に全国では300カ所以上で、「反原発・脱原発」の行動が行われています。

300ピキニデー&平和学習会

2月28日～3月1日静岡県焼津市にて3・1ピキニデー集会が開催され全国集会に1500人が参加。全厚労からは平和学習会を合わせて開催し、27名が参加しました。3月1日には故久保山愛吉さんへの献花墓参行動が行なわれました。



グループワークで率直な感想を交わしました

少しずつでも話し合って 考えて行きたい

福厚労 島村拓也さん

アメリカの太平洋での核実験によって第5福竜丸以外にも多くの船舶・漁師が被曝された事や日本国内にも放射性物質が流れて来た実態を知ることができました。ゆとり教育といわれていた私の世代は、ピキニ水爆事件は教科書にコラムで小さく取り上げられる程度で、知らないことばかりでした。

福島第1原

発事故の被害補償でも私の住む地域は対象にならず、線量の変わらない5km手前までは対象になるという不合理な線引きがされていて、ピキニ水爆実験等で被曝した多くの人が補償を受けることができず補償され方との差別を感じていたことは、これからの福島でも起こりうることだと思いました。

今福島では先の見えない不安もあって、原発のことや復興のことが話しづらい雰囲気だと思います。少しづつでもみんなで話し合っただけのことや福島のこと、広島・長崎・ピキニのことを考えて行けたらと思います。

「職場で何ができるか」 真剣に討論

全厚労は「平和でこそ命は守れる」「命を奪う戦争と医療は相容れない」として毎年8月の原水禁世界大会とピキニデー集会に参加。今年もピキニデー集会に合わせて平和学習会を開催しました。

ピキニデーとは 1954年3月1日～5月14日にアメリカ合衆国が6回の水爆実験を行い、少なくとも856隻の日本船籍の漁船が被曝しました。特に3月1日のマーシャル諸島内にあるサンゴ礁の島、ピキニ環礁で行なった実験によって150kmほど離れた操業していた静岡県焼津港のマグロ漁船「第五福竜丸」が死の灰を浴び、無線技師長として乗船した久保山愛吉さんが亡くなるなど強い放射能被害を受けました。日本ではこれを機に反核運動が盛り上がりました。

高知の高校生たちが平和ゼミナールとして第5福竜丸だけではないピキニ被災の真相を探った「ピキニの海を忘れない」を鑑賞したあと、4班に分かれてグループワークを行いました。グループワークでは「ピキニの核実験は第五福竜丸が被災した1回だけだと思っていた」「今回参加するまで名前くらいしか知らな

意思が気軽に 表明できる取り組みを

長厚労 野沢裕二さん



放射能に汚染されたマグロが大量に水揚げされたのにも関わらず、アメリカが補償金200万ドルを支払った後、放射線量を測ること自体をやめてしまい、事件を小さく見せようとしたことは東京電力や政府の責任を小さく見せて被害にあわれた方々が泣き寝入りさせられている福島第1原発事故の対応と変わ

「事故は起こらない」という安全神話を前提にしたエネルギー政策ではなく、事故が起きたらどうやってしまうのかしっかりと考えられた方法に変えていかねばいけないので、いろいろ話し合い考えていきたいです。今日多くの先輩方の取り組みを聞いて平和の活動をされている方々はほんとうに生き生きとしていました。最近では学生運動が盛り上がりつつある時期の様子が感じました。私たちも自分の意思が気軽に表明できる取り組みや機会をもっと増やしていければと思います。



核はいらないと訴えながら歩いた墓参行進

「核はいらない」の 決意新たに献花

翌3月1日は焼津駅から、ピキニ水爆実験の被災者で「原水爆の被害者は私を最

後に」と遺言を残した久保山愛吉さんへの献花墓参行動に参加し約2・6kmを核兵器廃絶を訴えながら行進。墓前祭では「核はいらない」「平和を守ろう」と決意新たに献花を行いました。午後からは焼津文化センターで行われた「被災59周年3・1ピキニデー全国集会」に参加。全厚労も平和に取り組み医療団体として登壇し、参加者と一緒に「We shall overcome」を熱唱しました。

前進してこそ姿で恩返し 双葉分会が交流会を開く

震災後初めて、福厚労双葉分会が3月2日に交流会を開催。他病院へ転属している双葉分会の仲間たちが互いの状況を交流しました。



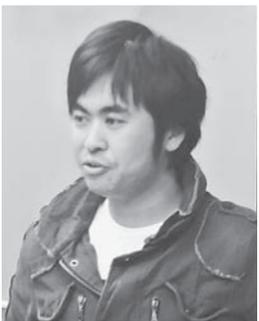
亀田智香子さん
(現所属：白河分会)

ぶりの再会に安心すると同時に、お互いの状況や問題に共感し、双葉分会への想いと今後を語り合っただ。多くの同僚が環境に馴染めなかったり、家庭の事情等で次々と離職している。今も双葉郡は、目に見えない放射能の壁によって復興への道は遠く、この先の見通しが立たない。しかし、周りの皆さんから受けた支援や援助に元気を貰い、このご恩は決して忘れない。これから、我々が一つずつハードルを乗り越え、前進していく姿を情報発信する事で恩返しに繋がっていきなすと思う。



大橋恵美さん
(現所属：高田分会)

東日本大震災発生から、2年が経ちました。双葉厚のあり方について組合員で話し合いました。それぞれ生病院は、原発事故の影響で、未だ警戒区域となっており休業状態が続いています。先日、双葉分会として臨時集会を開き、今後の双葉分会のあり方について組合員で話し合いました。それぞれ



増子英教さん
(現所属：埴分会)

あの震災から約2年、双葉分会の交流集会に集まったメンバーの顔は自然と笑みがこぼれていました。開会前、震災で亡くなられた杉内さんとお子さん

長より震災から現在までの経過報告があり、福厚労の災害対策ニュースが震災のわずか4日後から発行されていた事、福厚労やその他たくさんの支援を頂いた事を改めて感じました。双葉は永遠に不滅です！

ニクス笑アツ

芝田☆友衛



組合役員や組合活動に熱心な組合員を業務命令で別な職

に配転し、組合活動を困難にするようなことも不利益取り扱いとともに支配介入になります。また、これまで認められていた(黙認されていた)事業所内就業時間内での組合活動を制限したり(ピラ

まき、職場集会、掲示板の使用禁止など)、組合活動に対する便宜供与(組合役員組合活動のための就業時間内の離席など)を一時的に廃止することも支配介入です。

使用者の発言は、もちろん彼らにも憲法に基づき言論・表現の自由はありますが、その言論や表現が労働三権を侵害するような内容であれば支配介入になります。また経営側役員が、上記のような言動を行えば、「不当労働行為」であることは明白ですが、日常的には「使用者」とは言えない管理職などが労働組合の

ことについて、ではばった

りすることもありません。例えば上司が「将来を心配して」「組合活動を控えるよう」「心から忠告する」などの事があっても、それは支配介入になり、使用者の指導監督責任が問われます。

組合活動を萎縮させるような支配介入や公然とした不当労働行為を掃蕩するには、まずは組合員自身が「なにが不当労働行為なのか」を学び、不当労働行為は法律違反「人権侵害であり、労働者の生活より良い職場づくりへの攻撃」だということをしっかりと自覚することです。そして「小さな支配介入」であっても、その事実をメモし、できればその場で抗議し、速やかに組合執行部にも報告・迅速な対応をすることが大切です。



「組合活動を控えるよう」「心から忠告する」などの事があっても、それは支配介入になり、使用者の指導監督責任が問われます。

組合活動を萎縮させるような支配介入や公然とした不当労働行為を掃蕩するには、まずは組合員自身が「なにが不当労働行為なのか」を学び、不当労働行為は法律違反「人権侵害であり、労働者の生活より良い職場づくりへの攻撃」だということをしっかりと自覚することです。そして「小さな支配介入」であっても、その事実をメモし、できればその場で抗議し、速やかに組合執行部にも報告・迅速な対応をすることが大切です。

知って！ 労働組合 第10回

問
使用者の労働組合に対する「支配介入」にあたるのはどれか？

- 答え**
- A 組合役員の見学配転
 - B 組合の否定・非難発言
 - C 組合活動の監視
- (答えは4面下へ)

例年以上の参加者でウィンターフェスティバル開催

長厚労青年部ウィンターフェスティバル

2月9～10日に長厚労青年部ウィンターフェスティバルを菅平高原で開催しました。全体で170名、秋厚労から1名、埼厚労からも3名参加して頂き、全厚労の仲間とも交流を深めました。



菅平サンホテルの前で記念写真

今回の開催場所が菅平ということもあり、リハセンター支部の地元から他支部と交流を目的に多くの参加者を募りました。結果的に例年より5倍の参加人数を集めることができました。参加者からは、「色々なイベントがあって楽しかった」「他職種・他支部の人と交流ができて良かった」などと良い感想を頂きました。また今回、埼玉・秋田の青年部の仲間も参加があり、長厚労青年部の良さも伝えられ、県外での活動も聞く事ができ、いい交流の機会となりました。今後も長厚労の中だけでなく、全国の青年部の皆さんと交流していき、仲間を作り、長厚労の青年部をはじめ、全厚労青年部を盛り上げていければと思います。(リハセンター支部 青年部長 番場 靖)

職場・職種を超えて活発な交流できた

青年委員会 冬の交流会 開催

2月23日(土)～24日(日)の2日間、美人になれる温泉として名高い新発田市の月岡温泉「ホテル清風苑」にて80人の青年が集まり青年委員会冬の交流会が行われました。



白熱したソフトバレーに交流も広がりました

1日目は学習会を行いました。これから始まる春闘に向けた学習会を行ったあと、青年委員会の役員が中心となり企画を立てたグループワークが行われました。グループワークでは「職場環境を良くするには?～青年委員としてできること～」という議題で話し合いを行い、支部や職種を超えて活発な意見が飛び交い、爽やかな学習会となりました。その後は懇親会で、交流会では恒例となったギネス大会を行い、大いに盛り上がり楽しむことができました。

2日目は、ソフトバレーボール大会で汗を流しました。班ごとに熱戦が繰り広げられ、職場、職種を超えた交流を図ることができました。参加者からは「楽しく学習し多くの人と交流ができてよかった」「また、参加したい」といった声が多く聞かれました。次回、夏の交流会の場所、内容はまだ決まっていますが、今後も多くの仲間が楽しく、活発な活動ができるような青年委員会にしていきたいと思ひます。(新潟県厚生連労働組合 書記次長 和田祐輔)

各県青年部の取り組み 各地の冬の企画をお届けします

毎年楽しみ・心待ちな企画に子ども達も大喜び

広厚労尾道支部青年部でスキー・スノーバスツアー



貸切バスで出発。移動中は交流して盛り上がりました。

今年もスキー・スノーバスツアーを計画して、2月2日(土)に東北にある芸北国際スキー場に行ってきました。

広島県にスキー場があるの?と思われる方もおられるでしょうが、広島県にスキー場は15箇所くらいあります。九州やお隣の山口県からも沢山バスでこられています。

バス1台を借り切って、34名が朝6時に出発して2時間半かかってスキー場に着きました。尾道は気候が穏やかなので雪は降っても積もることはあまりありません。子どもたちはとても喜んでいました。雪だるまを作ったり、ソリで滑ったり、もちろん組合員やその家族はスキーやスノーボードで筋肉痛になるくらい思っきり滑っていました。帰りのバスの中はとっても静かにおやすみでした。主催者は、みんな無事に帰って来ることが出来てひと安心。毎年楽しみに待っていてくれる人のために、また、企画します。楽しかったです。(広厚労 柴野純子さん)

秋田青年部がウィンターフェスタ開催

「集まることも闘い」 交流深め青年らしい活動目指す

交流会の「ナイトフェスタ」で支部や職種を超えた交流ができました。



「集まることも闘い」と毎年主催

2月16日(土)～17日(日)、田沢湖高原温泉郷「プラザホテル山麓荘」にて、今年もウィンターフェスタを開催しました。このイベントは、組合員青年部が「集まることも闘い」という理念から一年に一度集まって交流を深めることを目的として、毎年青年部主催で行っているものです。

労働組合についてのDVD学習も

日中は田沢湖高原のスキー場でウィンタースポーツを楽しみ、夕食を兼ねた交流会ではゲームなどを通して、職場内はもちろん、支部や職種を越えて交流を深めました。また今回は、労働組合についてのDVDを参加者全員で観賞し、組合について学習することもできました。今後も、より活気に溢れる、青年部らしい活動を目指し、企画を構成、立案していきたいと思ひます。(秋厚労青年部長 小林健太郎)

改憲ストップ!“憲法と安保に強い活動家”の養成を!

勤労者通信大学

2013年度受講生募集中

- 新・憲法コース 日本国憲法を活かした政治と社会を
- 基礎コース 生きづらさの根本原因と解決策を探る
- 労働組合コース 労働者の使い捨てに怒りの声を

☆受講料 憲法 10,000円(テキストを全面改訂しました!)
基礎 15,000円 労組 12,000円

☆くわしい入学案内は下記までご請求ください。
〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 E-mail kin@gakusyu.gr.jp
TEL.03-5842-5644 FAX.03-5842-5645

帰って来た 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第73回は栃木と三重におりました。

栃厚労執行委員長の野佐根です。

栃木県厚生連が運営する下都賀総合病院と石橋総合病院が、経営統合再編や民間法人への譲渡により3月31日で幕を下ろし、同時に栃厚労も30年の歴史にその幕を下ろすこととなります。これまで全厚労本部を始め各県連の皆さんにご支援頂き感謝の念に絶えません。本当にありがとうございました。私達医療労働者や労働組合を必要としている患者さんや医療労働者がいる限り奮闘し続けなければなりません。ともに頑張りましょう。



栃木 野佐根正巳さん



三重 山田有子さん(中央)

三厚労からは、今年度より全厚労女性委員として活躍されている山田有子さんを紹介しします。

普段は、整形外科病棟で腰痛と闘いながら看護の仕事に奮闘されています。頼まれたことは最後までやり遂げる責任感があり、どんな場所でも自分の意見をしっかりと伝える姉御肌の彼女です。

趣味はウィンドウショッピング。おしゃれな有子さんは、クリクリした目で会う人の服装をいつもチェックしています。今度会った人はきっと“有子チェック！”が入りますよ～(笑)

映画紹介

渡されたバトン ～さよなら原発



1996年8月全国で初めて住民投票で「原発建設NO」を選択した新潟県巻町(現新潟市)が舞台。

68年「東北電力が原発建設を計画している」と新潟日報がスクープをしてから過疎化の進む人口3万人の巻町を二分する大問題へと発展していく。住民の多くが原発について何も知識もなく戸惑う中、79年のスリーマイル事故、86年のチェルノブイリ事故、95年の阪神淡路大震災という大きな事故・震災を契機にその都度自ら学び、反対運動が大きくなり、投票率88%賛成60%の住民投票へ



©「日本の青空Ⅲ」製作委員会

と繋がって行きます。主人公、五十嵐常夫が経営する割烹「珊瑚屋」は原

上映についてのお問い合わせは
「日本の青空Ⅲ」製作委員会
03-6280-5552まで

発推進派の土建業者や町議ら有力者の拠点。原発建設予定地にある寺に嫁いだ長女、漁協に勤める三女：賛否分かれる五十嵐家を舞台に一面では語りきれない原発に対する住民たちの苦悩を描きだします。

読者の声

訪問リハ・訪問看護のおしごとの記事を読みました。「地域と共に歩む」心温まるお話を聞かせて頂き勇気をもらいました。(静岡)

勉強になります。全厚労でこんなに頑張っているんだなあと思うと、自分も頑張ろうと思えます。また来月も楽しみにしています。(秋田)

全厚労ニュース、毎回記事、クロスワード共に楽しく読んでいます。今子育て真っ最中の私ですが、職場の方たちにも助けてもらいながら、仕事も子育てもバランスがとれていて、とても楽しい毎日です。どうしても人任せにしてしまいう組合の事：知っとく！なっとく！労働組合を見ていると

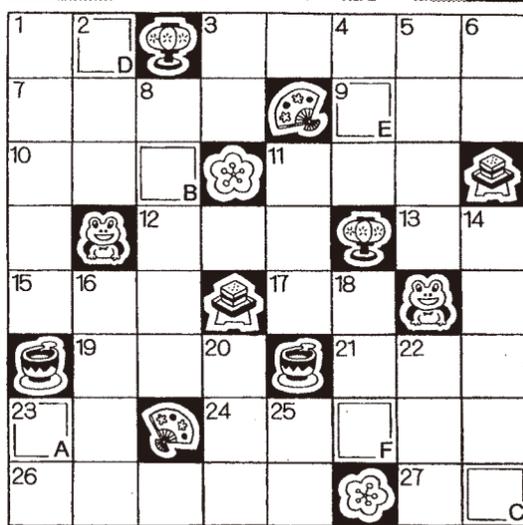
せられます。仕事に誇りとパワーを持って頑張ろう！(静岡)

私たちの病院でも色々な季節の行事食をしています。が他の病院でも色々努力をしているのだと思いました。(福島)

長野の篠ノ井総合病院の元日祝い膳はともに入院中の食事とは思えないくらい素敵でした。スタッフの皆さんの患者さんに少しでもお正月の雰囲気を感じたいと思いが感じられるお食事だと思います。今後こんな素敵なお食事でもたくさん患者さんを元気にしてあげてください。(富山)

ザ・クロスワード

出題●モロズミ勝



答 A B C D E F

★答えは16ページ

ヨコのカギ

- フナに無くてコイにあるもの
- 床下。……の力持ち
- 薬と人差しの間にある
- ウエットの対義語
- 1……は約1.6キロメートル
- 物の重さ。……売り
- チャンス。絶好の……
- 燃料にする木
- マージン。……を稼ぐ
- 卒業……。入学……
- 歯……。ヘア……
- 家の数
- 平和の象徴とされる鳥
- トロ、ウニ、イクラなどをのせた酢飯
- 嵐などで壊れた船
- 割合。成功……

- 山で木を切る人
- 先祖から続いている店
- 書道用具の一つ
- 秋の……便り
- ゲレンデは……世界

- 桃の節句
- 高い所から見た人間界
- 車……。伊勢……
- のんびり……。な春
- 真珠の古い呼び名
- エビで……。釣る
- 観光地などで人気のマスコットキャラクター
- 有名人。地方の……
- 学校に何室もあります
- 「笑点」の山田くんは……運び役

【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？

当選者10名様に図書カードを差し上げます
クロスワードパズルの答えと本紙の感想などを添えて下記あて先へお送りください。
当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。(1月号の答え：ハツヒノデ)